

2026 年 8 月 25 日

各位

株式会社ドリーム・アーツ



**食品スーパー「カスミ」、テナント向け水光熱費の請求業務に SmartDB を採用
～業務部門の担当者が 3 カ月で構築、工数約 60%削減し属人化解消～**

大企業向けクラウドサービスの株式会社ドリーム・アーツ（東京本社：東京都渋谷区、広島本社：広島県広島市、代表取締役社長：山本 孝昭、以下 ドリーム・アーツ）は、首都圏を中心に食品スーパーマーケットを展開するユナイテッド・スーパーマーケット・ホールディングス株式会社（U.S.M.H）のグループ会社である株式会社カスミ（本社：茨城県つくば市、代表取締役社長：折本 文孝、以下カスミ）が、各店舗に入居するテナント向けの電気・ガス・水道料金（水光熱費）の請求書業務のデジタル化に「**SmartDB®**（スマートデービー）」を採用し、2026 年 5 月に全店で本格運用を開始したことをお知らせします。業務部門の担当者が **SmartDB®** で内製化し、対象業務の工数を約 60%削減するとともに、業務の属人化を解消しました。

■SmartDB 導入の背景：インボイス制度対応で増加した「基幹システム外」の業務

カスミでは、各店舗に入居する 500 以上のテナントに対し、電気・ガス・水道の使用量に応じた水光熱費を毎月請求しています。インボイス制度への対応により明細書の発行が必要となったことで、請求業務はさらに複雑化していました。

一方、既存の基幹システム（賃貸管理システム）は制度変更への迅速な対応が難しく、検針値の確認や料金計算、仕訳データや請求書の確認などを Excel や手作業で補完していました。その結果、業務知識や運用ノウハウが特定の担当者に依存し、確認漏れや入力ミス、業務負荷の偏りが課題となっていました。また、業務データが分散していたため、処理状況の把握や業務改善にも時間を要していました。

基幹システムの全面刷新には 1 年以上を要することが想定され、制度対応を短期間で実現することは困難でした。そこで、既存システムを活かしながら周辺業務をデジタル化する手段として、ノーコードで柔軟にアプリケーションを構築できる **SmartDB®** を 2025 年 11 月に採用しました。

■SmartDB で実現したこと：属人化した複雑な業務を標準化、継続可能な運用へ

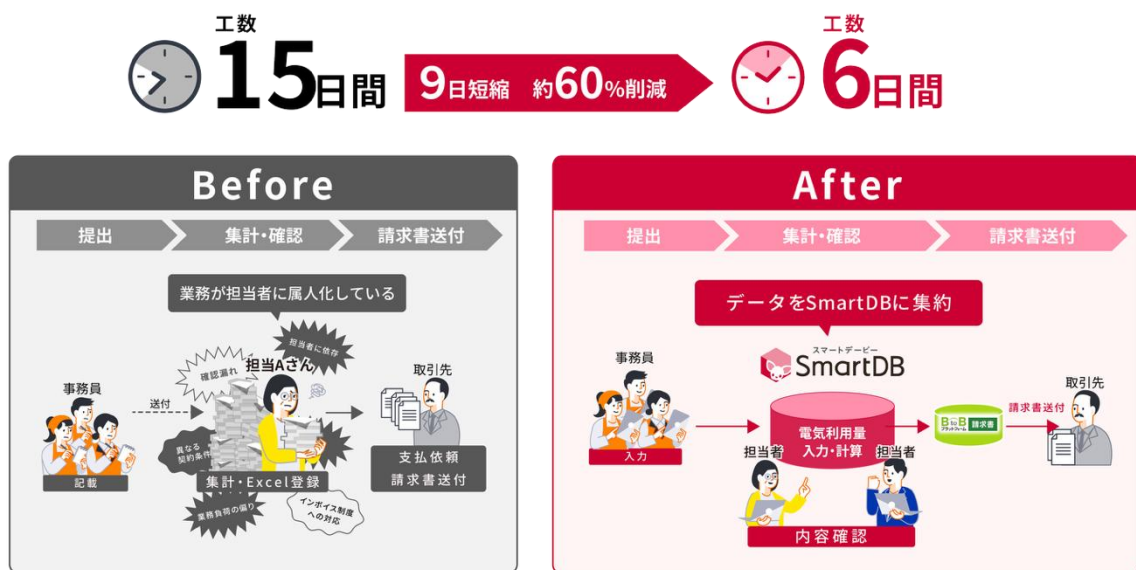
水光熱費の請求業務は、店舗・テナントごとに契約条件や算定方法が異なります。そこで、**SmartDB®** では、各店舗・テナントの契約情報をマスタ化し、それを参照して料金を自動計算する仕組みを構築しました。複雑な業務ルールを標準化することで、担当者の知識や経験に依存しな

い運用を実現しています。また、請求情報を一元化することで、手作業や二重入力を削減し、確認漏れや入力ミスの防止にもつながっています。

システム開発は不動産管理部門の担当者がドリーム・アーツの伴走支援を受けながら約3ヵ月で実施し、2026年5月に全店へ展開しました。その結果、対象業務の工数を月当たり約15人日から約6人日へと約60%削減し、業務の進捗や負荷の可視化も実現しました。

今回の取り組みにより、属人化しやすい複雑な業務を標準化するとともに、複雑だった業務の効率化と改善につながりました。

【イメージ：属人化した複雑な請求業務を SmartDB で一元化】



【イメージ：各テナントの契約形態をマスタ化し複雑な業務を効率化】

検針数値の集計(イメージ)

電気料金作成

テナント選択	株式会社クリーム・アーツ
テナント名	株式会社クリーム・アーツ
テナントコード	050505
所属店舗コード	0055
検針日	2026/05/12
前回検針日	2026/04/08
対象年度	2026/05

電気料金請求書兼計算書

項目	メーター-1	メーター-2	メーター-3	メーター-4	メーター-5	合計
今回検針量	50000.0	60000.0	.0	.0	.0	
前回検針量	1771.0	84915.0	.0	.0	.0	
メーター倍率	0	0	0	0	0	
使用料	46123.0	24995.0	.0	.0	.0	71118.0
契約量	10.0	基本料半額	1500.00	基本料定額	0	
...						
契約量(KWH)	22000.0	17.5	402,500	15,000	417,500	41,750
単価(円)						459,250
当月請求金額	459,250 円					

1 テナントマスター(契約情報)

テナント名	テナントコード	テナント名	基本料	基本料
A店	X	10000	1300	—
B店	Y	10000	—	XXX
...				

テナント情報や基本料などを参照可能

2 前月の検針結果を自動集計

3 異常値はアラートを表示

4 請求金額の自動計算

■SmartDB の選定理由：ノーコードで複雑な請求業務にも柔軟に対応

製品選定においては、以下の点が特に高く評価されました。

- **ノーコード開発による現場主導の改善**
業務を理解している現場担当者が自らアプリケーションを開発・改善でき、法令改正や業務変更にも迅速かつ柔軟に対応できる点。
- **複雑な業務ロジックに対応できる豊富な標準機能**
契約条件や請求ルールなど複雑な業務ロジックを標準機能で実装でき、入力から承認、データ出力までを一元化できる点。
- **手厚い伴走型の導入・運用支援体制**
導入検討から運用開始後まで一貫した支援が受けられ、継続的な改善にも対応できる体制。

■株式会社カスミからのコメント

インボイス制度への対応を契機に、水光熱費の請求業務はより複雑化し、従来の運用方法では対応が難しい状態となっていました。 **SmartDB®**で業務ルールを標準化したことで、業務の安定運用を実現するとともに、既存システムを活かしながら、現場主体で短期間に業務改善を実現できたことも大きな成果です。

ドリーム・アーツには、単なるシステム提供にとどまらず、業務改善をともに推進するパートナーとして、今後も現場に寄り添った支援と継続的な提案を期待しています。

ドリーム・アーツは、今後も“協創”を理念に掲げ、「現場力強化」「企業競争力向上」に役立つトータルソリューションを提供してまいります。

■当社連結業績への影響

本件による連結業績に与える影響は軽微であります。 今後、業績予想を変更すべき事象が生じた場合は速やかに発表させていただきます。

SmartDB®（スマートデービー）について <https://hibiki.dreamarts.co.jp/smartdb/>

SmartDB®は、大企業市場シェア No.1^(※)の業務デジタル化クラウドです。現場個別の業務から全社横断業務までノーコードで開発可能。ワークフローと Web データベースを中心に多彩な機能を持ち、柔軟な外部システム連携、きめ細かな権限管理、高度なセキュリティ要件にも対応しています。三菱 UFJ 銀行や KDDI、ツルハホールディングス、筑波大学など、大企業を中心にあらゆる業種業態のユーザーが利用中です。サービス基盤としてマイクロソフトが提供するクラウドプラットフォーム「Microsoft Azure」を採用し、利用規模の変化やコンテンツの増加にも柔軟に対応できる環境を実現しています。

※ テクノ・システム・リサーチ「2025 年 SaaS 型ワークフロー市場メーカーシェア調査」より

株式会社ドリーム・アーツについて <https://www.dreamarts.co.jp/>

「協創する喜びにあふれる人と組織と社会の発展に貢献する」をコーポレート・ミッションに掲げるドリーム・アーツは、「協創」を自ら体現することで、顧客の真のソリューションパートナーとして総合的な課題解決をお手伝いしています。

主なサービスとして、大企業向け業務デジタル化クラウド「**SmartDB®**」、多店舗オペレーション改革を支援する「**Shop らん®**（ショップラン）」、大企業の働き方を変えるビジネスコックピット「**InsuiteX®**（インスイートエックス）」などのクラウドサービスを開発・提供しています。

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社ドリーム・アーツ 広報担当 金井、岡

〒150-6029 東京都渋谷区恵比寿 4-20-3 恵比寿ガーデンプレイスタワー29F

TEL：03-5475-2501 / 090-9149-3958 E-mail：pr@dreamarts.co.jp

記載されている会社名および商品・サービス名は各社の登録商標または商標です。

©DreamArts Corporation.